

2021年2月19日

学部学生の皆さん

学 長
教務部長

京都薬科大学 2021年度授業実施方針について

1. 2021年度授業の基本方針

COVID-19の拡大防止のために、2020年度の教学プログラムはオンデマンド・オンラインによる授業（以下、Web授業）を取り入れて実施しました。前期では新しいWeb授業の実施に教員・学生ともに戸惑いがあったものの、後期には教員の創意・工夫により従来型の対面授業に劣ることのない授業が実施されたと感じております。また、Web授業の実施により、ICT技術の活用は知識を統合的に活用できる科学的思考力、問題発見・解決能力を涵養する補助的手段として有用であることを認識しました。

昨年、皆さんは、大学に入学あるいは在学しているにもかかわらず、大学に来ることができない寂しさと物足りなさを感じられたと思います。近くにいる友人と共に切磋琢磨しながら勉学に励むこと、つまり“京都で学ぶ”ことの重要性を再認識した1年でもあったことでしょう。

しかし、COVID-19禍収束の目途がたたない現状を考えた場合、COVID-19の拡大防止のためには全面的な対面授業の実施を行うことは困難であります。一方、このような状況ではありますが、将来医療人になるための勉学に支障をきたすことはできません。

以上のことを鑑み、2021年度は、可能な限り、対面で授業を実施します。また、対面授業とは異なる利点が期待できるWeb授業を組み合わせ実施します。それにより対面授業の全面的な実施に勝るとも劣らない授業と致します。

以上の方針に沿った授業を受講するためには、PC等の機器やLAN、またはWi-fi等の通信環境が必要です。皆さん各自がそれらの整備に努められることをお願いします。

2. COVID-19拡大防止のための教学プログラムの実施

当面、以下のような授業規模・実施方法のもとに行います。

- ・講義室の同時入室学生数は、原則として定員の半数以下とします。
- ・実習室の同時入室学生数は、原則として定員の3分の2以下とします。
- ・体育実技は屋外で実施できる競技種目のみ実施することとします。

授業を受ける際は、入構時に求められているようにマスク着用を義務と致します。ただし、体育実技等の授業でマスク着用が困難な場合は、担当教員からフェイスシールドなどの感染防御具の着用等の指示をします。

3. 基本的な授業設計

(1) 1・2年次

- ① 専門基礎科目、薬学専門教育科目等（履修者180名規模の講義科目）

対面授業とWeb授業を併用し実施します。

例) 半数の学生は対面授業で、残りの半数の学生は自宅等でWeb授業を受け

ることにします。

- ② ①以外の講義科目、演習科目、実習科目
対面授業を原則としますが、Web 授業を取り入れる場合があります。

(2) 3・4年次

- ① 薬学専門教育科目等（履修者 180 名規模の講義科目）
対面授業と Web 授業を併用し実施します。
- ② ①以外の講義科目、演習科目、実習科目
対面授業を原則としますが、一部 Web 授業を取り入れる場合があります。
- ③ 総合薬学研究
対面授業を原則とします。

(3) 5年次

- ① 実務実習
対面授業を原則としますが、一部 Web 授業を取り入れる場合があります。
- ② 総合薬学研究
対面授業を原則とします。

(4) 6年次

- ① 薬学専門教育科目等（履修者 180 名規模の講義科目）
対面授業と Web 授業を併用し実施します。
- ② ①以外の講義科目、演習科目
対面授業を原則としますが、一部 Web 授業を取り入れる場合があります。
- ③ 総合薬学研究
対面授業を原則とします。
- ④ アドバンスト薬学
対面授業を原則とします。

4. 評価に関わる試験・レポート等について

- (1) 定期試験、追・再試験（薬学総合演習試験、アドバンスト薬学試験を含む）
原則として対面で実施します。
- (2) レポート（実習レポート、レポート試験を含む）
担当教員より指示されたデジタルデータでの提出で実施します。

以上